

# 放射能関係のお知らせ

2019年1月3回(C週)

お届け日:2019/1/21~1/25  
発行日:2019/1/7



本誌は、カタログ掲載の青果について、2018/12/26(水)までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

## ●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果物	いちご	品目で検査済	たまつくり・はが野・とちのみ・うつのみや・佐原・遠州
	キウイ	品目で検査済	小田原・やはた会・久望
	みかん	品目で検査済	小田原・久望
	りんご	品目で検査済	ゴールド農園・八峰園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・サンファーム・青木
果菜	かぼちゃ	果菜類で検査済	佐久ゆうき
	きゅうり	果菜類で検査済	八千代・村悟空・サンド旭・佐原・和郷
	スナップえんどう	品目で検査済	南伊豆
	トマト	品目で検査済	葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ
		果菜類で検査済	沃土
	ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・野菜くらぶ(福島)・元気会・沃土・サンド旭・和郷
		果菜類で検査済	八千代・村悟空
		大葉	葉菜類で検査済
	キャベツ	品目で検査済	あいづ・南伊豆・三浦EM
		葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・野菜くらぶ・埼玉産直・沃土・村悟空・海上・佐原・和郷・遠州
小松菜	品目で検査済	谷田部・葉菜野果・群馬モグラ・佐原・八街・風土の会	
	葉菜類で検査済	有機農法ギルド・たまつくり・やさと・野菜くらぶ・南埼玉・沃土・和郷	
サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会	
春菊	品目で検査済	夢みなみ・あゆみの会	
	葉菜類で検査済	たまつくり・レインボー・元気会・うつのみや・村悟空・佐原・和郷・八街	
ターサイ	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・遠州	
チンゲン菜	品目で検査済	あゆみの会・和郷・遠州	
	葉菜類で検査済	沃土	
菜の花	品目で検査済	小田原	
	葉菜類で検査済	南伊豆	
にら	品目で検査済	元気会	
	葉菜類で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ	
ねぎ	品目で検査済	常総・たまつくり・八千代・野菜くらぶ・利根川・南埼玉・沃土・村悟空・佐原	
	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・やさと・八街・風土の会	
白菜	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・八街	
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・八千代・野菜くらぶ・埼玉産直・南埼玉・沃土・海上・村悟空・サンド旭・佐原・和郷	
ベビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ほうれん草	葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・常総産直・有機農法ギルド・やさと・野菜くらぶ・利根川・沃土・八街・佐原・和郷・風土の会
		検査予定	新しいわて・うつのみや
	みず菜	葉菜類で検査済	谷田部・葉菜野果・佐原
	芽キャベツ	葉菜類で検査済	南伊豆
	ルッコラ	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	野菜くらぶ
		葉菜類で検査済	八千代・沃土・海上・サンド旭・佐原
	若芽ひじき	品目で検査済	寺島
	かぶ	品目で検査済	たまつくり・八千代・沃土・海上・佐原
		根菜類で検査済	谷田部・和郷
ごぼう	品目で検査済	谷田部・たまつくり・葉菜野果・やさと・清瀬	
	根菜類で検査済	常総・和郷・佐原	
さつまいも	品目で検査済	たまつくり・葉菜野果・佐原・和郷	
	根菜類で検査済	常総・谷田部	
里芋	品目で検査済	たまつくり・八千代・あゆみの会・佐原・風土の会・八街	
	根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド	
しょうが	根菜類で検査済	村悟空・和郷	
大根	品目で検査済	和郷・三浦EM	
	根菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八千代・沃土・村悟空・八街・佐原・風土の会・海上	
長芋	品目で検査済	谷田部	
	根菜類で検査済	常総・葉菜野果	
人参	品目で検査済	常総・有機農法ギルド・あゆみの会・常総産直・清瀬	
	根菜類で検査済	二本松・谷田部・たまつくり・やさと・葉菜野果・沃土・村悟空・和郷・佐原・八街・風土の会・農法の会・海上	
にんにく	品目で検査済	八峰園・田子・ゆうき青森	
れんこん	品目で検査済	有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・佐原	

## ●青果の検査について

\*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。

\*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。

\*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

\*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています

## ●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
なめこ	品目で検査済	谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
まいたけ	品目で検査済	ささかみ・雪国
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	谷田部 *谷田部の生しいたけからは放射能が検出されました

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。\*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

## ●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2018/12/19	6.6
徳用生しいたけ(原木栽培)			
原木しいたけ(はねだし)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2018/10/17	4.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

\*白米で検査したところ、不検出でした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
れんこん	常総	2018/8/22	6.4
徳用れんこん			
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト 111414	お手軽味噌鍋セットのしいたけ	2018/12/4	5.4
きなり 112178			
コトコト 379	食べきり塩ちゃんこ鍋セットのしいたけ	2018/12/19	6.6
きなり 299			
きなりセレクト 341096			
コトコト 366	炒り豆腐セットのしいたけ	2018/12/19	6.6
きなり 307			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト 712	産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)	2018/11/6	1.2
きなり 118133			
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

## ●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

# 放射能はどこに溜っている??

各自治体では、震災後に除染マニュアルが公開されました。

そこにホットスポットのことがかかれています。

ホットスポットでは、時間とともに、放射能がまた集まってきてしまいます。気になる場合は、マスクをして、髪もバンダナなどで覆って、清掃してください。

ガイガーカウンターやシンチレーションカウンターをもっている場合は、計測して、清掃後の効果を確認されます。

## ホットスポットとは

①自然に雨や風で集まってきてしまうところ

例：土ほこりのたまり場、草、枝などが溜る場所

②水の通り道

例：雨どい、またはその排水口付近、排水溝の周辺、犬走りなど

③花壇、植木の根本

例：公園の花壇など、

以上のような場所で、周辺に比べて放射線量が高い地域をホットスポットといえます。

## どう取り除くか?

土ほこりや枝・草などは、ほうき、ちりとり、スコップで取り除きますが、その際は、メガネやマスクをして、立ち上がるほこりを吸い込まないようにします。

草刈、気になる土砂、側溝内のどろなど取り除きます。

## 取り除いたものの処理方法

現在では、枝や葉、雑草類は可燃物で処理を行っても大きな問題はないと考えられます。

しかし、気になる場合は、放射能は水の流れによって、下へ移動するので、庭などに30cm以上の穴を掘って、埋めることがいいでしょう。

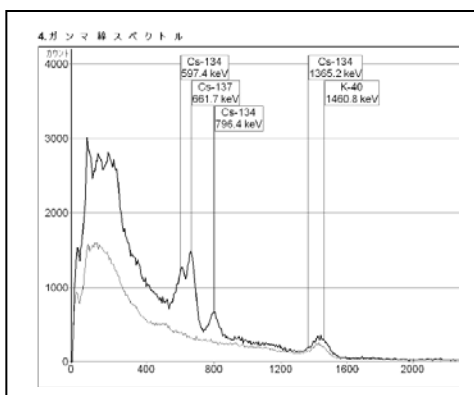
\* 30cmの土をかぶせると、放射線の遮蔽率が98%になります。

セシウム134は半減期が2年ほどなので、かなり減衰して周辺には見られなと思われませんが、セシウム137はまだ半減期を1回も迎えていません。

震災直後に気を付けて庭の清掃をしなかった場合は、草木が放射能を吸収し、その葉や果実に放射能が含まれている可能性がありますので、定期的なきれいにすることをお勧めします。

## 気になる場所は?

- ①側溝 ②建物の隅 ③花壇や植え込み ④木の根元 ⑤すべりだいの下 ⑥その他遊具で水のたまるようなところ ⑦路肩 ⑧駐車場などの隅、その砂利 ⑨雨どいの下



土壌を計測すると左のような結果が得られる。

セシウム137は661.7KeVのところピークが現れます。

\*左図は、関東のホットスポットで個人の庭を計測した事例。

# 12月の放射能検査状況

12月の検査は、21日までで、しいたけより生しいたけ3件(6.6,6.9,8.6Bq/kg)が検出されました。お料理セットのしいたけより1件(5.4Bq/kg)がそれぞれ検出数値は自主基準内でした。その他に検出された食品はありませんでした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	12月	検出状況		12月	検出状況
青果	23 (0)		卵	0 (0)	
しいたけ	4 (3)	生しいたけ 6.6, 6.9, 8.6 Bq/kg	魚介類	41 (0)	
その他のきのこ類	5 (0)		飲料水・飲料	3 (0)	
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品	20 (0)	
牛乳・乳製品	5 (0)		その他加工食品	149 (1)	お料理セットのしいたけ 5.4Bq/kg
肉類	0 (0)		合計	250 (3)	

## 2018年度の放射能検査の状況(2018年4月~)

青果	常総センターのれんこんより1件(6.4Bq/kg)で自主基準内の検出がありました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけより(5.3~22Bq/kg)で自主基準内の検出がありました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2018年産米は、8月よりJA君津の千葉ふさおとめから検査が始まり、いままでJA君津、JA魚沼みなみ、JAささかみ、JAつくば市谷田部、JAこまち、JA北蒲みなみ、オーリア21、JAえちご上越、JA庄内たがわ、JAみどりの、JA津軽みらい、南埼玉、JA山形おきたま、JA秋田ふるさと、JAいわて花巻、庄内協同、JA会津よつば、JA佐渡、花咲農園、健診の郷の産地で検査が終了し、不検出でした。栃木の日本の稲作を守る会より2件玄米で検査を行い1件(4.4Bq/kg)自主基準内で検出されました。白米にして検査を行ったところ、不検出でした。米は白米で供給します。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。
牛乳、肉	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
卵	今年度はまだ検査を行っておりません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより1件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。2017年度に産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)より1件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。まだ、今年度は検査を行っておりません。
その他加工食品	<p>&lt;お料理セット&gt; 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っていません。2017年よりyumyumでの掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけ(4.3・8.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。</p> <p>&lt;大豆加工品&gt; 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。</p> <p>&lt;乾物&gt; 2018年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.1Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。</p> <p>&lt;その他&gt; 2017年度にサプリメントのブルーベリー&amp;ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。今年度はまだ検査を行っておりません。</p>

# パルシステムの放射能検査について

## ●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		
	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

## ●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

## ●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)			国の規格基準	
2014年10月より現行基準			現	旧
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	10	10	10
飲料、乳製品、米			50	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	100	100	100
しいたけ	100			

\*乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位Bq/kg)

\*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。